



月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
弔いと生活						
7	8	9	10	11	12	13
～死をめぐる現在をとらえる～						
14 割引	15 入滅	16 大安	17 赤口	18 先勝	19 友引	20 仏滅
21 大安	22 赤口	23 先勝	24 友引	25 先負	26 仏滅	27 平安
28 忌引	29 辛口	30 楽勝	31 強引			

伝統的なお墓のあり方や弔いの作法は、多様化、個人化する傾向にあり、散骨やロッカー式納骨堂、「墓じまい」などの新たな習俗も登場している。現代の死をめぐる諸相をとらえ、自身の死と「その先」を考える機会となる本シンポジウムに、どうぞふるってご参加ください。

■日時 2019年6月8日(土) 14:30～18:10 ***一般入場無料!**

■場所 跡見学園女子大学 文京キャンパス ブロッサムホール

■プログラム

会長挨拶・趣旨説明 14:30～14:40

第1部 テーマスピーチ 14:40～16:40

鵜飼秀徳 (浄土宗総合研究所嘱託研究員・佛教大学・東京農業大学非常勤講師)

「無葬社会」のなれの果て

土居浩 (ものづくり大学准教授)

「伝統的」葬制の近代性について

村田ますみ (株式会社ハウスポートクラブ代表取締役社長)

海洋散骨の現状と広まっている背景

佐藤壮広 (立教大学兼任講師)

歌と弔い—ひとを偲ぶ音楽の現在

第2部 ディスカッション 16:55～18:10

「弔いと生活：死をめぐる現在をとらえる」

